

【中野区】

校務 DX

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本区において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1 校務支援システムへの接続環境の整備

現在の校務支援システムは、オンプレミス（自治体パブリッククラウド）環境で運用しており、学校現場において校務・保健・学籍・成績管理など様々な校務で利用している。

しかしながら、オンプレミス環境では、教職員は職員室以外から校務システムへのアクセスできないことから、柔軟な働き方であるテレワークの実施や、緊急時の校務継続が困難となっている。

そこで、セキュリティ対策を十分に講じたうえで、自宅等からのロケーションフリーでのパブリッククラウド上の校務支援システムへのアクセスが可能となるよう調査研究を着実に進める。

2 勤怠管理・勤務時間管理環境の拡充整備

現在の勤怠管理・勤務時間管理は、教職員が学校内に設置されている始業・終業時刻確認パソコンへの生体認証を行うことによって行っている。

今後、自宅等からのロケーションフリーでのアクセスが可能となった際も、適切な勤務管理・勤怠時間管理ができる仕組みを整えるよう調査研究を着実に進める。

3 校務の効率化とペーパーレス化の推進

現在、学校で取り扱う書類の多くで、押印・FAXの利用が見られる。行政部門においては、かねてより押印廃止を進め、またFAX利用を控えてきたところである。

今後、学校においても押印・FAXの原則廃止に取り組んでいく。

また、電磁的記録名簿情報から校務支援システムへの取り込み方法の調査研究を進め、手入力作業の一掃に取り組み、校務の効率化を進める。